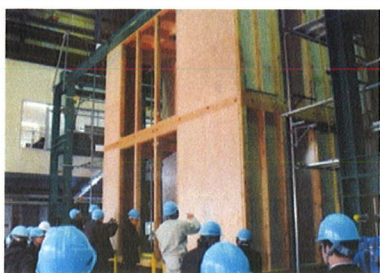


2017/1/28 05:30 神戸新聞NEXT

住友ゴムの木造住宅用制震装置 震度7再現し実験



震度7で2度揺らした後の住宅の損傷具合などを確認する参加者 = 京都市宇治市、京都大防災研究所

拡大

住友ゴム工業（神戸市中央区）は27日、木造住宅用の制震装置「MIRAI E」（ミライエ）の性能を確かめる公開実験を京都大防災研究所（京都府宇治市）で行った。昨年4月の熊本地震と同様の震度7で2度揺らし、住宅に損傷がないかなどを確認した。

ミライエは2012年発売。高さ約260センチ、幅80センチのA字形をした鋼鉄製の枠組みで、建物の壁内部に柱状に設置する。装置上部に特殊なゴムを用い、振動エネルギーを熱に変えて吸収、地震の揺れを抑える。熊本地震では、熊本県内132棟で装着されていたが、目立った損傷は出なかったという。

京大の協力を得て、上下左右、前後の揺れへの耐震性を初めて実験した。熊本地震で観測されたのと同じ振れ幅で各50秒間揺らし、建物の変形量などを測定。ミライエを設置していない住宅に比べ、建物の変形を95%低減でき、耐震性の持続も証明でき

た。同社は「一般住宅での有用性が実証できた。今後も実験を続け、製品の改良開発を続けたい」としている。（横田良平）